

PEMBROKE PLAYERS
PPJT
JAPAN TOUR



PEMBROKE
PLAYERS
JAPAN TOUR
2015 PRESENTS

THE COMEDY OF ERRORS

BY WILLIAM SHAKESPEARE
hosted by Okinawa Christian Institute

TOKYO
YOKOHAMA
OKINAWA

— シェイクスピアin沖縄 —

間違いの喜劇

ウィリアム・シェイクスピア原作


10/3[土] 入場無料

沖縄キリスト教学院チャペル

開場 16:30

上演 17:00~19:00

【共催】 沖縄キリスト教学院大学
沖縄キリスト教短期大学
沖縄キリスト教学院大学大学院

【助成】  一般財団法人
りゅうぎん国際化振興財団
Bank of the Ryukyus International Foundation



/ppjtcambridge

Photo credit: Johannes Hjorth

ストーリー

『間違いの喜劇』(Comedy of Errors)は、シェイクスピア初期の文句なく面白いドラマ喜劇です。でも、そのテーマはとてもシリアス——。

あなたなら、どうしますか？ はじめて行った町なのに、会う人会う人、呼びかけてきたり、家に招待してくれたり、先日のお礼を言ったりしてくれたり——。

おまけに、自分の妻と称する女が現れて、「どこにいらしたの？ まさか浮気をしていたのでは？ さあ、お食事にしましょう」と言いながら、強引に見覚えのない家へ引っ張っていったとしたら？

混乱してしまいますよね。今までの自分は、いったいどこへ消えてしまったのか——。これが、主人公のアンティフォラスがエフェソスの町に着いたときの状況です。

種を明かしてみればなんとということはない、嵐で生き別れた同じ名前の双子の兄が、この町で結婚し、商人として暮らしていたのです。しかもこの兄と弟のアンティフォラス、同じドローミオという名前の双子を従者にしているのです！

同じ町に双子が二組もいるというのに、当人たちも町の人々もそのことに気づかないため、大騒動となってしまいます。

一組のアンティフォラスとドローミオは悪魔払いの祈祷師によって汚い穴倉に

閉じ込められ、もう一組のアンティフォラスとドローミオは尼僧院に逃げ込みます。

事情を知らない当人たちにとってはおかしどころかぞつとするような体験かもしれないですが、すべてを知っている観客には、抱腹絶倒の連続です。

最後は二組の双子たちが一堂に会し、嵐で死んだと思っていた母も現れ、なにもかも、めでたし、めでたし。家族再会の感動と幸せに満ちて幕となります。

シェイクスピア初期の喜劇ですが、自分の信じている自分(なりたいたい自分)と、他人の見ている自分(期待される自分)にズレがあるという設定の中に、後期シェイクスピアが悲劇で何度も問いかけることになるテーマ——自分とは何か——が、既に見取れます。

後期の喜劇では『間違いの喜劇』に似た傑作『十二夜』があります。こちらは嵐で生き別れたのは双子の兄妹で、妹の方はある国に流れ着き、男装して公爵に仕え、密かに恋していますが、その公爵が求愛しているお姫様が、この男装の麗人に恋をして……という具合に、男装による外見と中身のギャップから、混乱が生じてきます。

蜷川幸雄の演出した『間違いの喜劇』(二〇〇六年)では、小栗旬が一人二役で兄弟のアンティフォラスを、そして高橋洋が、やはり一人二役で兄と弟のドローミオを演じています。

ペンブルックプレイヤーズについて

イギリスの名門ケンブリッジ大学の中でも、屈指の古い歴史を誇るペンブルック校——。その学生さんたちが企画・運営するのが、劇団ペンブルックプレイヤーズです。

この劇団は、毎年「ペンブルックプレイヤーズ・ジャパンツアー」(PPJT)と呼ばれる、大人気のツアーを日本で行っています。これまでに関東地区を中心に、明治大学、成蹊学園、大東文化大学、さらに日本各地のインターナショナルスクールや公共施設などで、シェイクスピア劇を上演してきました。

今年で九年目になるジャパンツアーですが、今回は、ついに沖縄まで足をのばし、沖縄キリスト教学院でシェイクスピア原作『間違いの喜劇』を公演してくれることになりました。

現在、ハリウッドで活躍するイギリス出身の俳優や女優は大勢いますが、中でもケンブリッジ大出身の役者さんらはみな、このペンブルックプレイヤーズと何らかのつながりがあるといわれています。

——本公演のお問い合わせ——

浜川(☒)hamagawah@ocjc.ac.jp)
Valvona(☒)valvona@ocjc.ac.jp)
早川(☎)946-1568)

*リアルなシェイクスピア英語で上演します。

☆☆☆主な登場人物☆☆☆

- イーゾン シェラキュース町の商人
- 兄アンティフォラス(兄ア) イーゾンの双子の息子のひとり
- 兄ドローミオ 兄アの従者
- エドリエーナ 兄アの妻
- ルシアーナ 兄アの妻の妹
- 弟アンティフォラス(弟ア) イーゾンの双子の息子のひとり
- 弟ドローミオ 弟アの従者



沖縄キリスト教学院大学 人文学部 英語コミュニケーション学科
 沖縄キリスト教短期大学 英語科/保育科

Tel TEL 098-945-9782 FAX 098-946-1241 ホームページ www.ocjc.ac.jp
 住所 〒903-0207 沖縄県西原町字翁長777

